

# 新生マリン宣言

蒲郡マリンライオンズクラブは、ライオンズクラブ国際協会の会員として、モットーである『We Serve(われわれは奉仕する)』を胸に、その地位・名誉を十分理解し、その名に恥じぬよう奉仕活動を実践する。

今、当国際協会が目指す MISSION 1.5 (2027.7.1 までに全世界合計会員数 150 万人) に賛同し、貢献するための諸策を以下に示す。

・いわゆる経営者会員ばかりでなく、女性、若手会員を含めより多様な意見を反映させるため、事務所費等の運営費を抜本的に見直し、年会費を下げることにより会員拡大を図る。

・経済力（寄付、寄贈等）の奉仕は他クラブにお願いし、今まで取組んできた知恵と労力の奉仕（アクティビティ）に重点を置く。

・アクティビティは5年10年のクラブ周年時に盛大にというよりは、毎年、地道にコツコツとより良いまちになるには何をすべきか SDGs の視点から考え企画実践する。

・当クラブの特徴であるフレンドシップを大切にして、友情、親善、相互理解の絆によって会員間の融和を図る。

以上

2024年2月22日 発行

## ◆入会案内

・奉仕活動に興味のある方、ぜひ当クラブへ。貴方の入会をお待ちしています。

### ◆入会資格

- ・蒲郡広域圏内に住居または、勤務先がある方
- ・年十数回の例会に出席できる方。場所：ホテル竹島
- ・年数回の奉仕活動に参加できる方
- ・LINE 及び mail 操作ができる方

### ◆手続き

・入会を希望される方は、当クラブまでメールまたはお電話ください。

### ◆承認

・入会は、会員委員会が入会規則に基づいて推薦し、理事会及び例会で承認後、貴方を招請します。

## ◆蒲郡マリンライオンズクラブ概要

◆地区名 334-A地区（愛知県）2R（東三）2Z

◆クラブ番号 49281

◆結成 平成元年2月28日（1989）

◆認証 平成元年5月7日（1989）

### ◆事務所

〒443-0104 愛知県蒲郡市形原町広田2番地4

市川総合事務所 2F

◆ TEL 0533-57-3827

◆ FAX 0533-57-3827

◆ E-mail: [info@gamagorimarine.jp](mailto:info@gamagorimarine.jp)

◆ HP: <http://gamagorimarine.jp/>

ホームページ更新中



2024.05 <<Vol.08>>



蒲郡マリンライオンズクラブは、従来年会費が20万円でしたが、**12万円**としました。

SNSを駆使して、今後も会費を下げることを目標に、いわゆる経営者ばかりでなく、多くの**女性、若手の《ボランティアが好き》**という方に、会員になっていただきたいと思います。







蒲郡マリンライオンズクラブは、いも掘り大会として、20回（20年間）開催してきました。5月に苗を植え、育て、10月の収穫までの6か月間、草取り等手間暇かけて保育園児、福祉施設入居者等に差し上げるために作業をしてきました。継続することができたのには理由があります。参加者から、「**ありがとう。本当に楽しかったです。**」との言葉を、毎年何度も聞くことができるからです。ボランティアすることによって、心が満たされる不思議な感覚を得ることができるのです。

愛知県には、105のライオンズクラブがありますが、これほど準備に日数の要する奉仕活動（アクティビティ）を継続しているクラブはなかなかありません。当クラブでは、知恵と汗の奉仕を今後もし続けたいと思います。

そして、いわゆる経営者会員ばかりでなく、**女性、若手会員を含めより多様な会員を迎えたいと思っています。**お金の奉仕というよりは、知恵と労力の奉仕つまり、**《ボランティアが好き》**という方です。今回、当クラブの特徴を十分生かすために、年会費を20万円から12万円に下げました。もっと入会しやすい組織にする覚悟です。

今年度から、ガールスカウト愛知県第91団（蒲郡）の会員とコラボして、奉仕活動をしてきました。マリンロードの環境整備、エコキャップアートの作成、献血活動、赤い羽根共同募金活動、能登半島地震募金活動、養老孟司氏講演会の謝辞、さがらの森での虫捕り等。孫のような女の子達と一緒に活動しました。互いのクラブが、その特徴を十分発揮し相乗効果をもたらす活動することは、地域にとって重要なことと思います。

**蒲郡マリンライオンズクラブは、ライオンズクラブという社会的信用のある国際的な組織の一員として、市民や行政により良いまちになるよう提言する奉仕団体であることに共感を得られる方には是非一緒に活動をしていただきたいと思っています。**



## ◆いも掘り大会

竹島水族館西側の竹島ベイパークにおいて保育園児とその父兄、福祉施設入居者等毎年約300人を招いて毎年10月に行われます。従来、我々が苗を植え育てたいもを掘ってもらうことと、市販されているいもを現場にて焼きいもにし、家族団欒で頬張る場所を提供する企画でした。最近ではさらに焼きいもをアルミホイルで包む作業、ジャンボいも大会、宝探し、シャボン玉、エコキャップアートの作成、JAよりパンジービオラの苗の配布等、参加者により一層楽しんでもらうよう企画しています。

